



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121  
 会長 立石 誠 幹事 平出吉範 会報委員長 宮下金俊 第2805回例会 2017.12.14 No.1468



ロータリー：  
変化をもたらす

## 2017-18年度RIテーマ

ROTARY :  
MAKING A  
DIFFERENCE

**ソング** 我らの生業**会長談話**

先日26日に伊藤雅基ガバナーエレクトが国際協議会に参加されるにあたり、壮行会が駒ヶ根のホテルリゾートリンクスで開催され参加して参りました。この会は駒ヶ根RCの年末家族会と併せて行われ、和やかな雰囲気楽しい時間を過ごさせて頂きました。当クラブからは中川博司パストガバナー、藤澤秀敬次期地区大会実行委員長、清水紀光会長エレクトと私の4名で参加いたしました。中川パストガバナーは発起人会代表としてご挨拶されました。私の隣には松本西南RCの古川次期ガバナーエレクトがおられ、「クラブそれぞれ色々な問題を抱えていて大変ですね。これからは宜しくお願いします。」と話をしました。出席いただいた皆さんご苦労様でした。また、私を送り迎えして下さった藤澤さんに感謝いたします。

**幹事報告**

1. 伊那青年会議所より、新春会員大会のご案内が参りました。

日時：2018年1月6日(土) 17:30～

場所：信州伊那セミナーハウス

会費：懇親会費として6,000円

2. 地区事務所より、年末年始休業のお知らせが参りました。

2017年12月29日(金)～2018年1月8日(月)まで

【12月のプログラム】疾病予防と治療月間

7日(木) 年次総会(次期役員・理事発表)

14日(木) クラブフォーラム

21日(木) 卓話(高遠郷土歴史研究会会員矢澤章一様)

※13:35 顕彰審査委員会、理事会

25日(月) 年末家族会(会場：かんでんぱぱガーデン西ホール 時間18:30～)

28日(木) 25日(月)～振替

**委員会報告**

親睦活動委員会 松下正博委員長

12月25日(月) 年末家族会に多くの会員、ご家族の皆さんのご出席をお願い致します。



**出席報告** 会員数58名 内出席免除20名

長欠2名 出席者32名 事前メーキャップ1名  
出席率66.00% 前々回100%変更なし。

**ニコニコボックス**

中川博司、立石 誠、清水紀光、藤澤秀敬 伊藤雅基ガバナーエレクトの国際協議会壮行会に出席して参りました。

波多江崇史 先日、伊那JCの卒業式が行われました。1月以降はJCシニアクラブメンバーとなりますので、先輩方宜しくお願い致します。

山田 益 12/12 東芝エネルギーシステムKK、京浜事業所において「ベストパートナー賞」を頂きました。サプライヤー200社中7社でした。

平出吉範 今月は「疾病予防と治療月間」です。お話をさせていただきます。

第59期役員・理事 小林孝行・原 義美・向山賢悟・波多江崇史

**IGM報告**

A班 矢島 勇会員

B班 矢島秀亮会員

C班 清水紀光会員

D班 平出吉範幹事

(報告内容は11月30日付会報に掲載)



## クラブフォーラム 疾病予防と治療月間



### 平出吉範幹事

本日は、「疾病予防と治療月間」について、ロータリーのHPからピックアップし編集した資料でお話いたします。

お話しいたします。

この報告では、重点分野で頻繁に実施されているプロジェクトの特徴の他に、グローバル補助金で重要となるプロジェクトの特徴と役立つリソースについて紹介します。

ロータリーの重点分野は、100年以上にわたり様々な国、文化、職業のロータリアンが協力し合い、世界中の地域社会で活動している。ロータリアンは、長期的な変化をもたらすように様々な形で地域社会の発展に尽くしながら、若者に力を与え、保健の向上を支援し、平和を推進している。

ロータリーは特に6つの分野に重点を置いて活動している。6つの分野は

- ①平和と紛争予防／紛争解決
- ②疾病予防と治療
- ③水と衛生
- ④母子の健康
- ⑤基本的教育と識字率の向上
- ⑥経済と地域社会の発展

本日は、2番目の「疾病予防と治療」となります。従来のプロジェクトから画期的なプロジェクトまで様々なものがあるが、ロータリーは、疾病を予防し、健康への意識を高めるため次のような取り組みを実施している。

- \* 予防可能な疾病を予防し、ウィルス拡大を防ぐための医療従事者の能力向上プログラムを提供する。
- \* 非感染性疾患、NCPSの発症数、合併症発症数を軽減するための取り組みを行う。また、三大感染症マラリア、結核、エイズの状況については次の通りとなっている。
- \* 2000～2010年でマラリアの死亡率は世界全体で25%減少し、この10年間で約1,100万人の命がマラリアから救われたこととなります。
- \* 1995～2011年では、5,100万人が適切な結核治療を受け、2,000万人の命が救われている。1990年代から今日までで結核死亡率は半数に



なると予想されている。

- \* HIV感染については、2015年末で推定3,670万人が感染しており、2010年までに、抗レトロウイルス治療（HIV治療薬）が普遍的に受けられるよう国連のミレニアム開発目標が掲げられたが、この目標は達成されていない。しかし、新規感染者は35%減少、死亡者は28%減少している。究極的な目標は、HIV感染拡大の阻止にあるが、ウィルス予防方法に関する認識レベルが非常に低いのが現状である。

疾病予防の具体的な事例であるが、毎年世界で10億人がデング熱、ハンセン氏病に感染し苦しんでいる。これは顧みられない熱帯病（NTB）・・・熱帯の貧困層に蔓延しており、世界の149カ国と地域の人々が苦しんでいるが、三大感染症のように先進国での症例が少ないことから製薬会社の開発が遅れ貧困から抜け出せない要因ともなっている。

（その他、プロジェクターを使い説明が行われた。）